

第2回「演劇×教育」パラシュート研究会

ージャンル混合で演劇ワークショップを体験するー

開催日時	2021年12月26日（日） 13:00～16:00 / Zoom		
プログラム	13:00～13:10	趣旨説明	
	13:10～14:10	演劇的手法を用いた授業プログラムの模擬授業体験	
		題材「かえってきたホテル」（小学2年生の教材）	
		ファシリテーター F.ジャパンさん（劇団衛星）、森谷Aさん（劇団衛星）	
		ゲスト講師 小学校教員の方	
	14:10～15:00	「演劇×教育」の取組に関するディスカッション	
	15:10～16:00	「パラシュート方式」の方法論に関するディスカッション	

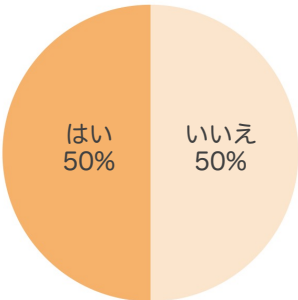
開催概要

第1回研究会を通して繋がった小学校教員の先生と共に、演劇的手法を用いた「道徳」の模擬授業を実施しました。小学2年生の教材「かえってきたホテル」を取り上げ、演じながら自然愛護のテーマについて考えました。模擬授業体験の後に、参加者と共に「演劇×教育」の取組や「パラシュート方式」の着想に関するディスカッションを行いました。

参加者

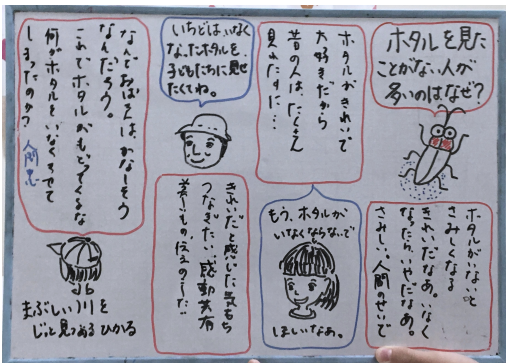
参加人数	17名
分野	演劇、舞台俳優、演劇ワークショップ講師 コミュニケーションデザイン 数理モデル、システムエンジニア、NPO法人 異文化コミュニケーション、医学・公衆衛生学 医学教育、看護学・グループ・ダイナミクス 製造業、商品企画、サービス業

Q.「この分野の人と初めてお話した」という方と出会いましたか？



感想（一部紹介）

- 実際の授業に近い形を見せていただいたので、現場での実践風景を理解する助けとなった。
- 多分野の人たちがパッと現場に落とされ、参加したり議論する・・・その中で、思いもよらぬ反応が起こっているのが感じられました。まだ2回目ですが、小学校の先生とのコラボ授業が実現したわけですし、「一緒にこれやりましょう！」とか「こういう情報を知っていますよ！」と、集合知が形成されていくのが大変面白いです。明日からの自分のフィールドでの仕事も、だいぶ影響を受け、変わりそうです。
- それぞれの分野の課題意識は、完全に自分から切り離された課題ではないのだなとわかりました。
- 不確実性、感性を大事にするという意味では、教師向けのプログラムを行い、理解を広げるのも良いように思いました。



ホワイトボードの板書



実施の様子(研究会運営スタッフと模擬授業講師)